

※赤字は二次的波及効果

年間150万人以上が訪れる函館朝市に「ミニ水族館」を開設



7月15日～12月30日

- ◎大型水槽4基を設置（写真A）
市民や観光客、のべ18万3,000人が見学

夏休み（7月15日～8月15日）

- ◎朝市内24店の生け簀や陳列棚の海産物に、水族館風の説明板を設置（写真B）
⇒朝市店主から好評につき、展示継続中

夏休み（7月15日～8月15日）

- ◎朝市内5か所に小型水槽を設置（写真C）
- ◎水槽を巡るクイズスタンプラリーに3,068人参加（写真D）



子どもや学生、市民が準備に参加

お魚お絵かき講座



ロゴ制作講座



水槽立ち上げ体験



親子で挑戦！海の生き物採集



海について学び、考える場に

水族館飼育員体験



海の生き物講座



親子 イカ料理教室



親子 海藻料理教室



お魚プログラミングワークショップ



2019年4月～9月

子ども向け講座9種類、のべ14回開催（参加人数164人）

地域の協力体制を構築

- ◎北海道大学水産学部
 - ・ミニ水族館の企画、ガイドブック監修
 - ・展示する海水魚を提供
 - ・プログラム講師（前学部長：安井教授）
- ◎函館市・北斗市・七飯町
 - ・全小学校にチラシ配布、ポスター掲示
- ◎函館市国際水産海洋都市推進機構
 - ・展示する海水魚を提供
- ◎海藻活用研究会（産官学連携団体）
 - ・プログラム企画運営
- ◎漁師、漁協
 - ・展示する海水魚を提供
 - ・プログラム企画運営
- ◎函館朝市
 - ・ミニ水族館の準備、運営
 - ・プログラム企画運営

制作物、PRツール等

- ◎函館朝市ミニ水族館ガイドブック（8ページ）
- ◎動画8本
- ◎イベントレポート7本（Canpanブログに掲載）
- ◎Webサイト、Facebook、Twitter、Instagram

露出 合計26回

地元新聞やテレビに加え、観光客向けの情報誌でも紹介される
内訳...新聞15回、テレビ3回、ラジオ1回、情報誌5回、Webメディア2回



8月～12月

公立はこだて未来大学3年生が作成する「海を疑似体験させるVRゲーム」に、当会が協力。朝市で子ども向け体験会開催。当会が魚写真と説明文を提供。体験会をサポート。